京城日報
朝刊 夕刊
本日朝夕刊共六頁

社說 光榮ある國土を護れ

一

大東亞戰爭勃發以來僅か十ケ月にして、太平洋に於ける米英勢力は正に潰滅に瀕してゐるが、その米英はその巨大なる經濟力を頼んで、長期戰を企圖する一方、軍事的にはその敗戰を挽回せんがために、執拗なるゲリラ的對日反撃の機を狙ひつゝあり、現にソロモン海、アリユーシヤン群島方面に於ける大規模の反撃企圖は幸ひにして、我が海軍の儼たる威力の前に空しく挫折し終つたけれども、今後折あらば對日反撃の擧を繰返し來るであらうとは想像に難くない。

我國民たるもの、敢て米國恐るゝに足りないけれども、苟しくも長期百年戰爭遂行の心構へに間隙を生じ、徒らに勝利感に醉つて、銃後の生活に聊かの弛緩があつてはならぬことは、さきの陸軍當局談の通りであつて、こゝに國土防衛の光榮ある責務を瞬時たりとも忘れてはなるまい。我々はいま世界に冠絶せる陸海空軍を高くして、敵の方向から如何に我にせまるか豫測出來ない。國土防衛のために、國民總力を最高度に活用すべき不斷の準備が必要なる所以は實にこゝにある。

二

陸軍當局では今回國土防衛に關する劃期的な方策として陸軍防衛召集規則を制定、十月一日より實施すると決定した。即ち在郷の將兵はその階級を問はず、必要ある場合は直ちに現在地において召集を受け、國土防衛の任務につくべき義務を生じたわけであるが、この緊急なる措置がわが國の現狀に照して

三

我が至高なる國土を護るもの、獨りそれは陸海將兵のみに課せられたる責務ではない。老いも若きも、男も女も齊しく我が安居樂業のこの國土を身をもつて護ることこそ、銃下國民の大なる責務である。今回の陸軍防衛召集規則の公布を見て、痛切に感ずることは實にこの國民一體の防衛陣の結成である。今回の國土防衛線への在郷將兵の總動員によつて所謂軍防衛の一體は略し萬全を期せられるであらうが、これを表裏一體、緊密なる連繫の下に、相共に進むべき民防衛の布陣に照して萬遺漏なきや。最近における民間における防衛陣が著るしく組織的となり訓練による技術的の進歩を來してゐることは事實であるが、この際、これを機會に更にこれに檢討を加へると共に各人がその職域を護る國土防衛の根本に徹して益々銃後の固めを強化することに努力すべきであらう。

絶對必要なるものであることは前に述べた理由からして一日も忽たるものがあり、この劃期的なる方策を斷じて支持しなければならない。在郷將兵たるものは第一線への應召の覺悟と共に、郷に在つて直接光榮ある國土を護る銃後の第一線に應召する覺悟を相共にもつべきであつて、そのためには常に職域にあつてその心構へをもちつゝ、銃後奉公に挺身するのでなければならぬ。

三國同盟けふ二周年を迎ふ

全世界を壓す大戰果
樞軸國、堂々の大進軍

【東京電話】米英により張り廻らされた利己主義、個人主義の覊絆を絶ち切つて萬民その所を得しむる世界新秩序理念に結ばれた日本、ドイツ、イタリー三國が一昨年九月廿七日ベルリンウイルヘルム・シユトラーセのドイツ外務省において、リツペントロツプ獨外相、チアノ伊外相、そして來栖駐獨大使間に世紀の盟約日獨伊三國同盟を締結してはや二ケ年いま大東亞戰下初めて迎へるこの意義深き日、海を隔てゝ東西聲高らかに壽ぐべき三國同盟締結二周年記念日である。今や大東亞の地に皇軍赫々たる戰果を擧げ、歐洲の地に獨伊樞軸軍また縱横の活躍を示すとき、萬里の波濤を蹴つて無敵帝國海軍大西洋に進出すれば、印度洋にはわが軍艦旗に協力する獨艦艇の雄姿をみる、世界を壓する樞軸大戰果のもとに迎へることの記念すべき日、日本朝野においても數々の催しが行はれる、廿七日は午前十時谷大學、高專學生代表數千名が文部省に集合、二隊に分れてそれぞれ獨伊樞軸大公使館を訪問、祝意を述べる、これを皮切りに午後零時半から外相官邸で谷外相主催の獨伊大使を主賓とする祝賀午餐會にひきつゞき一時からは日比谷公會堂で翼贊會、府、市、日獨伊親善協會主催の三國同盟條約締結記念式典が催され、席上岸本東京市長の挨拶についで東條首相、谷外相、オツト獨大使、インデルリ伊大使ら順次祝辭を述べ、天皇陛下萬歲をオツト大使、ヒトラー總統萬歲を小笠原日獨伊親善協會長、ムツソリーニ首相萬歲を中瀬東京市會議長、三國條約締盟國元首萬歲を大藏東京府會議長の發聲でそれぞれ高らかに奉唱する、また總會第二日を迎へる中央協力會議においても午前中の總會に記念式典を執行、三國提携強化邁進の決議を上程するほか、ニーゲーでも午後二時半からこの催しをマイクに通じて全國に中繼放送する

米英の驚愕その極
我潛艦の大西洋進出

【ストツクホルム廿五日同盟】日本潛水艦の大西洋進出の報は聯合國側に非常な衝撃を與へ、なかんづく米英兩國は日本海軍の行動はほぼ大東亞海域に限られ、いはんや大西洋方面まで進出するなどとは夢想だもしなかつただけにその驚愕の度は特に甚しく、したがつて本報道に對する反響も極めて周章狼狽ぶりを如實に示してゐる、特にロイター通信ロンドン電はその第一報において日獨兩國の發表は多く實際の效果を狙つたもので眞否については情報がないとして冷靜を裝ひつゝ、その續報においては現在の大型潛水艦の能力をもつてすれば東亞水域から大西洋に進出することは決して不可能なことではないとて前電に對して訂正を行つたほどである、かつ同通信海軍記者は、何れにしても右潛水艦は實に一萬六千キロの長距離を突破したことになるが、大型潛水艦ならこの距離は無補給で航行し得る能力あり、しかもこの艦には樞軸側補給艦乃至は他の潛水艦からの補給を受けることが可能であると指摘してゐる、以上のほか米系および英系情報は太平洋水域においても潛水艦の必要がますます痛感されてゐる今日、日本海軍があへてこの擧に出た理由として大要つぎの通り觀測してゐる

一、ドイツ潛水艦の活動範圍が南北大西洋に加へ北極洋方面にまで擴大した結果、ドイツの保有する潛水艦勢力のみをもつては手薄となりドイツ側の要請に應じて日本潛水艦の派遣となつたものであらう

一、聯合國側の商船建造計畫が進捗しこのまゝ放置するときは世界戰局の大勢にも影響する虞れなしとしないので、樞軸國側協議の結果、今回の擧となつたものであらう

伊紙も謳歌

【ローマ廿五日同盟】帝國海軍兵

官民一體の實
盛會裡に第一日終る
中央協力會議總會

【東京電話】廿六日午後の中央協力會議總會第一日は午後一時再開、橋田文相、湯澤內相の發言あつての岩村法相起つて經濟事犯の現狀とその豫防對策、青少年に對する司法保護ならびに思想犯、經濟犯保護對策につき、また寺島遞相よりは計畫造船實施、電力需給および郵便貯金、簡易生命保險の獎勵策などにつき、最後に奥村情報局次長よりそれぞれ挨拶あり、征戰目的完遂に邁進すべき斷乎たる政府の所信を披瀝し會議員を通じて廣く國民の協力を要望、こゝに官民一體、上意下達の實を具現して同二時四十分政府側の發言を終つた、これに對し安藤議長は首相はじめ各大臣の發言に謝意を表し、かつ政府の施策を裏づけする翼贊運動の展開につき翼贊會首腦者としての決意を表明、ついで午前に引續き會議員提出議案の說明に入り、教育制度の革新、青年學校教育の充實強化その他錬成問題につき下情を上通するとともに忌憚なき意見を開陳、かくて長期戰を戰つてゆく政府翼贊會の決意は渾然と結集され、大なる成果を收め總會第一日を終了した

第一日午後

【東京電話】廿六日午後の中央協力會議は一時再開、午前に引續き會議員提出議案の說明に入り、富永氏(各界)國民教育をもつて國民學校、一般中等學校の科學教育の中心目標とすること、國民の心身を鍛錬するとともに生活に合致する科學知識の普及が必要であると述べ

田村清三郎氏(佐賀)教職の確立と師道の昂揚に關する件として今回政府が行つた學制改革をさらに一歩進め教育者に『國の教育者』『興亞の指導者』たるの見識を備へ得るやうその錬成組的組織とする

一、國民學校、中等學校の教員を官吏とする二、教員の待遇を他の文武官と同様にする三、諸給與を國庫支辨とする四、教育の人事行政を一元的に統制強化する五、教員の養成期間を一元化し、またその待遇を適正化する必要がある、このため

ことが必要だ、ついで關聯事項として小野俊一氏(各界)の國民學校に實踐道場的あるひはまた一大家族的な素質を持たせたい、國民學校の陣容強化は是非必要で、そのため(一)廣く郷黨の師父として仰がれる人格德望の士を求めて名譽校長就任の道を講ずる(二)かくて國民學校をその學區內の住

和田信二氏(鹿兒島)青年學校教育の刷新強化に關する件─青年學校に町村民錬成道場を設置して町村民を積極的に錬成する必要がある、このため萬難を排し獨立青年學校の建設と專任學校長の設置を强行されたい、女子青年教育の修正も必要である

民及び家庭に結びつけ、その土地における精神文化道義確立の紐帶たらしめることが必要であると要望

阿刀田令造氏(各界)大東亞戰爭完遂のため特に青年學校關係組織の確立強化をはかるの件─青年學徒關係の組織を整備し、教育總動員態勢の確立強化をはかるため左の如く要望する

一、青年學校生徒は農村作業、防空作業に挺身協力、全國青年一如體を確立する

一、現行興亞青年勤勞報國隊派遣と述べ、同三時廿五分より十分間休憩三時四十分再開

の方法に代つて高等學校以上の學生若干を一年以內の期限をもつて皇軍占領地域に派遣し心身の錬成と日本文化の宣揚を期す

一、各種教育會を發展的解消せしめ強力かつ一元的な新教育會を結成、教育翼贊運動の中核たらしめる

中西タキノ女史(德島)國防生活に徹する女性教養に關する件、日本女性の誇りと感激に燃え日本女性の眞の使命に徹した女性を教養する見地から次の如く提案した

一、女子青年團、女子青年學校、翼贊なる家庭等の實習場を開設する

一、母の再教育を行ふに母親學校を各地に家中心の婦女の教養の透徹、保健、衛生の合理化などをはかり再教育する

河村恭輔氏、民間防空戰力を昂揚して空戰に對し民間防空の實戰に際し適切たり得ないおそれがある

一、現在の防空施設の統制官廳として現在隣組の擔當を統制し、警察は消火、救護、防空の最下部組織を強化し警防團を強化熟練させ團員給與せよ

一、防空用材は配給先配給し、また防空を法制し防空に關する練資材配給權を

同盟精神を昂揚!
けふ會議劈頭に決議

【東京特電】廿七日の日獨伊三國同盟締結二周年記念日に際し中央協力會議は當日總會の劈頭、安藤議長の發議により日獨伊三國同盟強化推進に關する決議を行ふ事を諮り直ちに起草委員を指名、文案作成の上、正午休憩前又は午後の總會にこれを附議、全會一致可決し樞軸海軍の聯合作戰に呼應して新秩序建設の同盟精神を全世界に闡明するが、更に代表者數名がこの決議文を携行して當日日比谷公會堂に開催の大政翼贊會東京府、市、日獨伊親善協會共催の記念式典に赴きこれを朗讀する豫定である

畏し、勳章御贈與
盟邦獨伊文武官の榮

【東京電話】畏くも 天皇陛下にはかせられては樞軸軍戰勝の裡に迎へる日獨伊三國同盟二周年の記念日を前に、廿六日ゲーリング獨空相をはじめ同國文武官四十六名ならびにグラチアーニ伊國元帥以下同國文武官二十六名に對し三國國交親善に盡力したるを思召され、それぞれ勳章御贈與の御沙汰あらせられた、右勳章は陸海軍ならびに外務省において同日それぞれ傳達の手續が執られたが、うち主なる者左の如し

贈與旭日桐花大綬章(各通)
獨國國家元帥 ヘルマン・ゲーリング
同國海軍元帥 エリリヒ・レーダー
同國陸軍元帥 ワルテル・フオン・ブラウヒツチ

贈與勳一等旭日大綬章
同國空軍大將 ロドルフ・グラチアーニ
同國同勳一等 マリオ・ロアツタ

贈與旭日大綬章
同國陸軍大將 ウイルヘルム・カイテル
伊國元帥 フランチエコ・プリコロ
同國海軍大將補 アルツロ・リツカルディ

贈與勳一等瑞寶章(各通)

警察署長が暴行掠奪
伯國の邦人壓迫、日毎に募る

【東京電話】米國側の在留邦人に對する非人道的取扱ひぶりに對してはすでに外務省から利益代表國を通じて嚴重抗議したが、一方米國の脅威に乘つて對日斷交をあへてしたブラジル政府は今日のブラジル國家發展に比類のない貢獻をなしたわが在伯廿餘萬の同胞に對し苛酷極まる取扱ひを行ひ、目を掩はせるものがあるので、堀情報局第三部長は廿六日ブラジル政府の邦人取扱ひに對して左の如き談話を行ひ、その反省を公にするとゝもにブラジル當局の猛省を促した【寫眞は堀情報局第三部長】

ブラジル政府は米英兩國の政治的經濟的壓迫の加重するにともなひ遂にさる一月廿八日多年にわたり日伯兩國の友好關係を斷絕の如く捨てゝわが國に對し斷交を宣言するの態度に出たのであるが、しかもわが國はこれに對し大國の態度をもつて事態を靜觀して來たのである、しかるに伯國政府は斷交以來、日増にわが在伯廿數萬の同胞に對する取扱ひを苛酷にし、遂に左記に指摘するが如き非人道ぶりを發揮するに至つたのである

第一 由來伯國の奥地においては警備上何人も武器を所有することの必要なるは伯國一般の承知するところにも拘らず、サンパウロ市當局は在留邦人をもつて第五部隊なりとの謂れなき口實を設け、邦人より自衛用の武器を沒收し、ために警察力不備なる奥地においては無賴不逞の徒輩は命衛

龍田丸館山に入港

【館山電話】去る十八日昭南島を出發一路懷かしの祖國に最後の航海を急いでゐた日英交換船龍田丸は船脚も輕く廿六日午前九時館山灣に入港した、この日戰頭は波穩か、西に富嶽の靈峰、東に房總の連山が秋色にはえて引揚邦人たちは今ぞ仰ぐ神州祖國の偉大なる姿に接し感慨無量である、やがて十時館山港まで出迎へ

力の一部が大西洋に進出したとの日獨兩國發表は廿五日イタリー各紙上當日の最大記事として大々的に報道された、各紙とも日本海軍の大西洋における活躍と併行してドイツ潛水艦も印度洋方面に活躍してゐる事實は世界戰局において樞軸側が極めて緊密な協同作戰を實行してゐる生きた證左であり、これは戰に戰略的に重大意義あるばかりでなく、政治的にもあるひはまた流域國民の戰意の見地からも、はかり知るべからざる大きな影響を齎すであらうと强調してゐる

悽慘、隨所に肉彈戰
ス市の市街戰 中央部に移る

【リスボン廿五日同盟】諸情報を綜合するにスターリングラード市街戰の重心は北部より中央部に再度移動した模樣で、中央停車場より東西に貫通する大通りに沿ひ夜來の突風を衝いて凄慘目を蔽はしめる肉彈戰を展開中である、獨軍は豆戰車から超重戰車に至る各種戰車を網羅した數百台の大集團をもつて大通りから南北に向つて赤軍主力の側背を衝く作戰に出てゐるのに對し、赤軍は猛火渦卷く廢墟のなかに點々と散在する廢兵家屋の殘骸に强固な陣地を急造、砲兵隊中心に死物狂ひの防戰に努めて

ソ聯の不滿澎湃
ウイルキーの訪ソ失敗

た外務省歐亞局太田第三課長ほか內務省小田切事務官、大藏省稅關潛務部長その他關係事務官など五十名を乘せた連絡船が舷側に横づけされたが、この思ひがけぬ出迎へ人にタラツプ間際に詰寄つた

朝鮮寄留令の公布

廿六日附屬法令と共に
＝宮本法務局長談話を發表す＝

朝鮮寄留令は廿六日制令第三十二號をもつてその附屬法令と共に公布十月一日より實施されるが、右につき宮本法務局長は左の如き談話を發表した

宮本法務局長

戸籍制度は人の身分關係を公證するにとまり、戸籍に登記された者の現實の所在を明かにする制度ではないから人口動態を明確に把握するが爲には、戸籍と相俟んで現實の居住場所を公簿の上に反映する制度を必要とする、この要請に應ずるのが寄留制度であつて、この制度の眼目は居住の事實を明かにし本籍外に居住する者に付別に寄留簿を定めこれを秩序とすると共に、一面その本籍との連繋を保持するにある、從つて本制度の施行により徴兵事務執行上においては勿論、物資の配給等その他人的資源を基調とする各般の行政上の施措にも貢獻する所多大なるものがあると思ふ、以下簡單にその大綱を説明する

寄留に關する法令

今般制定せられた寄留に關する法令は朝鮮寄留令及び同手續規則であつて、これにより寄留制度の構造乃至機構を明かにし朝鮮寄留手續細則に於てその手續上の細則が定められてゐる、右法令は素より朝鮮に限り施行せられるのであるが、朝鮮内に居住する者である以上、内鮮人たると外國人たるとを問はず總て適用を受ける（令第一條第一項）

寄留に關する事務

（1）寄留の意義＝寄留とは九十日以上居住する目的を以て本籍外に於て一定の場所に住所又は居所を定むる事實を謂ふ（令第一條第一項）住所居所の觀念は全く民法の觀念と同一で唯九十日以上居住する意思とその事實を必要とするのみである、從て兩者何れも一ケ所以上存在し得ざるは當然であるが、事實上住所と居所を併有する場合があるから、法令に於ても斯る場合を認めてゐる

（2）寄留事務の管掌者及其の監督＝寄留事務は戸籍事務と同様府尹又は邑面長にその管掌を委任せられ（令第二條）その監督に就ても司法行政の監督下に置かれてゐる（令第三條）

寄留に關する屆出

（1）屆出義務者＝寄留に關する屆出は寄留者自らこれを爲すを原則とし、世帶を同じくする者に在つては世帶主に於てその義務を負ふ、但し寄留者又は世帶主が屆出を爲すこと能はざる場合は、同居者又は世帶主に代つて世帶を管理する者がその屆出を爲すべきである（規則第十六條）寄宿舍等の場屋の寄留者に就ては、管理者即ち舍監又は主人等に於て寄留に關する屆出を爲さねばならぬ（規則第十七條）

（2）屆出の方法＝寄留に關する屆出は本人の寄留地の府尹又は邑面長に對して爲すを本則とする（規則第十八條）然し本籍又は住所に復歸する場合の屆出は本籍地又は住所地に於てこれを爲すべきである（規則第十九條第二項）屆出は書面に依り、樣式は手續規則に定めてある、屆出を要する場合は、同規則第十九條に規定する所で（一）新に寄留したとき（二）寄留の場所を轉じたるとき（三）寄留者が本籍又は住所に復歸したるとき（四）法令に別段の規定ある場合を除くの外寄留簿に記載した事項に變更を生じたときは、右の事實發生の日より十四日以内に必ず屆出を要する、府尹又は邑面長は屆出を怠りたる者があることを知つたときは、相當の期間を定めて屆出義務者に對しその期間内に屆出を爲すべき旨を催告することになつてゐる（規則第二十一條）その催告の有無に拘らず寄留に關する屆出を怠ると十円以下の過料の制裁がある（令第五條）

寄留に關する帳簿

（1）寄留簿＝寄留簿は索引の便を計る爲に寄留の場所の地番號の順序に從て編成される（規則第一條）その記載方は世帶を同じくする者に就ては世帶主を本とし一用紙を備へ、その他の寄留者に就ては同一番地に居住する者は原則として全部一用紙に列記し、便宜に從ひその中の一人又は數人に付一用紙を用ふることが出來る（規則第二條）寄留簿の記載事項は手續規則第三條に規定する所でこれによれば寄留者の氏名及び出生の年月日世帶主と寄留者との續柄等必要な事項が擧げられてゐる

（2）住居用紙＝寄留者の本籍地の府尹又は邑面長はその者の戸籍に用紙を添附しこれに寄留者の氏名、寄留の場所及び年月日並に寄留の場所が住所であるか居所であるかを記載する（令第五條）これを住居用紙と謂ふ、これによつて寄留者の寄留の事實が本籍地に於ても明かとなる

（3）寄留簿又は住居用紙の記載の正確なることを要するは勿論であるから、寄留令は寄留に關する事項は屆出に依るは勿論、職權を以て記載すべきものとしてゐる（令第一條第二項）手續規則には各府邑面において寄留に關する記載を爲す手續を詳細に規定してゐる

（4）寄留簿及住居用紙の公示＝寄留簿住居用紙は戸籍簿と同じく一般に公示される、故に何人にも一定の手數料を納付すれば閲覽又は謄本若は抄本の交付を請求することが出來る（規則第二十二條）

（5）寄留簿及は住居用紙の改製＝寄留簿又は住居用紙を改製する必要がある場合は府尹又は邑面長は何時にても監督裁判所の許可を得てその改製を爲すことが出來る（規則第十五條）必ずしもその全部たることを要せざるは勿論である

＝朝鮮寄留令の全文＝

朝鮮寄留令の全文左の如し

第一條　九十日以上居住する目的を以て本籍外に於て一定の場所に住所又は居所を定めたる者を寄留者とす、本籍なき者、本籍分明ならざる者又は日本の國籍を有せざる者にして九十日以上居住する目的を以て一定の場所に住所又は居所を定めたるものに付亦同じ、寄留に關する屆出又は職權を以てこれを寄留簿に記載することを要す

第二條　寄留に關する事務は府尹又は邑面長これを管掌す

第三條　寄留事務は府廳又は邑面事務所の所在地を管轄する地方法院の院長これを監督す、寄留事務の監督については司法行政の

監督に關する規定を準用す

第四條　寄留に關する屆出、屆出義務者、屆出期間、寄留簿その他寄留に關する事項は朝鮮總督これを定む

第五條　寄留に關する屆出を怠りたる者は十円以下の過料に處す過料の裁判は過料に處せらるべき者の住所地又は居住地を管轄する地方法院これを爲す

附則　本令施行の期日は朝鮮總督これを定む

農村勞働力の調整

農林局長 圓滑運營を説く

[illegible]食糧增産の總決算ともいふべき秋の收穫期を迎へ各道は稻の適期刈取り、田畓の耕起整理その他につき對策を講じてゐるが、總督府農林局では農村勞働力の調整に關して從來各道がとり來つた[illegible]が必ずしも萬全を得てゐない現狀に鑑み左の諸點につき廿五日附局長通牒を以て注意を促すところがあつた

即ち各通牒によれば先づ本年春季農繁期に實施した班長訓練を基礎として特に大東亞戰下における農業增産の必要性を徹底的に理解させ作業地區、種類、時期、分擔、出動者範圍、農機具役畜の共同利用等についても充分の協議を遂げたのち部落民間に娯樂を來させしめぬやうにしたもので共同作業班の組織などによつても五戸乃至十戸をもつて一作業單位とし、婦人、學生などの作業班編成なども作業種目を明確に決定するやう指示してゐる更に共同作業の種目も水稻の適期刈取、田作物の收穫、田畓の耕起麥播種、穀類調整に集中させること、又一種目の作業にのみ取掛つて他の作物の適期取入れが不適になる場合が少くないのでこれ等についても充分の考慮が拂はれることを要望してをり、役畜、農機具の共同利用も部落を單位とし個人所有の役畜も積極的に利用すること及び農村における學校その他の團體が行ふ道路修理等は努めて農繁期を避けしめて總力を農事作業に向けさせるやう明示してゐる

更生交織物移入、配給

廿五日 統制要綱を各道に通牒

内地に準じ内鮮產更生交織物の移入ならびに配給統制の實施については かねて殖產局において成案を急いでゐたが、廿五日各道に移入配給統制要綱を通牒、機構の整備次第實施するとなつた、統制要綱の骨子は左の通りである

一、統制對象は原則として毛紡式を除く更生織物で内地產品は日本綿スフ織物配給會社取扱品、鮮產品は總督府の指定織物とす

二、統制機關は朝鮮織物移入組合に更生織物部（第四部）を新設する、組合の構成は元卸業者にして直移入實績昭和十四年以降三ケ年間合計實施、九萬円以上のものならびに鮮產更生織物の元卸業を營むものにして總督府の指定したもの

三、配給方法は移入組合が一括移入をはかるとゝもに鮮內產品を一元的に買上げ所屬組合員に配分左の方法によつて配給する

1、内地人向は各道呉服小賣商業組合所屬組合員及び朝鮮百貨店組合員に配給する

2、朝鮮人向は[illegible]會所屬會員を[illegible]賣商朝鮮被服[illegible]

寢具類の移入、配給

統制要綱を各道へ通牒

[illegible]

統制品目 [illegible]

商工業者よ

最早南方進出の時期

日商會頭藤山愛一郎氏談

[illegible]

鰐と孔雀の出現

泰の秘境をさぐる

死の町ターカタンに入る

[illegible]

ケオノイ第一の町に入る

[illegible]更に上流に行くと『ターカタン』につく、ケオノイ地方での第一の町だ、住民約一千、山を負ひ河に臨んで地相的にマラリヤの本場である、眼の前を歩いてゐた男が、フラ〳〵したと思つたらバタリと倒れた、軍醫さんが驚いてカンフル注射をしてやつた、背筋のうすら寒い感じのする町だ、カンフル注射が效いて軍醫さんは町の人氣者となり、衞生調査がはかどる、最近に死亡者が五人、百人程診察した中で、八十人は慢性マラリヤで脾臟肥大に罹つてゐる 住民は竹を切り、船にして海上を下るのが仕事、民族としては タイ人だがバンコックの タイ人とは違つた山窩である、 蛮刀を 腰にさしてゐるから恐らせるとあぶない、峡谷の渓谷に見るものは孔雀とマラリヤだが夜ともなれば虎も出沒するといふ

[illegible]

茶業協會を創立

共榮圈内の茶業調整

【東京電話】南方諸地域の確保に伴ひ大東亞共榮圏内における茶の需要の調整ならびに各地域における茶業の調整は緊急の要務なるにかんがみ、商業組合中央會議所ほか三團體が中心となりかねて各地域における茶業者の連絡協調に當るべき中央機關を設立すべく準備中のところ、日滿支關係機關の同意を得たのでこのほど茶業協會創立總會を開催、農林省石井農政局長、拓務省竹内殖産局長ほか係官ならびに日滿支關係團體代表出席

一、會則、初年度豫算、役員選任の件、その他を附議した結果、會長子爵細田倍恒、副會長三橋四郎治、鶴友彦の兩氏ならびに理事五名、監事二名をそれ〴〵決定した同協會の事業は

1、茶業者の連絡および協調
2、茶業に關する調査研究
3、仮付の[illegible]

なほ協會員は

1、内地＝内地茶業組合中央會議所、日本茶輸出組合、日本紅茶組合、全販聯、日本茶直輸出會社、大倉商事、日本茶輸出協會、三井物產（豫定）三菱商事（豫定）岩井商店（豫定）

2、臺灣＝臺灣茶業協會、臺灣商公會、臺灣茶輸移出會社

3、滿洲および關東州＝滿洲生必會社、關東州事業組合

4、北支蒙疆および中支＝天津生必輸入配給統制組合、山東食糧品輸入配給組合、武漢與業會社、中支那入茶業同業組合（豫定）

屑ゴム回收一段と強化

新古製品バーター範圍擴大

南方獲得によつて近く朝鮮にも幾分の生ゴムの入荷を見ることゝなつてゐるが製品の不足により製造處理に相當の困難が豫想されてゐる、よつて殖產局においてはこれが對策として、かねて屑ゴムの回收によつてこれが緩和策となしてゐた、既ち自動車のタイヤーのバーター制を採用しを見越し鮮内自給體制を強化するうへにも屑ゴム回收に一段の努力を傾注すべくその方法を研究中であるが此の際更に新古ゴム製品のバーター範圍を擴大する手段が採られることゝならう

小林鑛業總會 配當八分据置

小林鑛業の十四回定時株主總會は廿六日午後一時から開催、當期決算ならびに利益金處分案、監査役一名補員の件を附議したが、今期配當は年八分を決議可決、監査役には前記の通り銀理事松井裏治郎氏が選任された利益金處分（單位千円）左の通り

◇當期純益金二、四五八▲前期繰越金五八〇▲計三、〇三九

◇この處分▲法定積立金一五〇▲別途積立金四五〇▲稅引當金七〇〇▲役員賞與金三〇▲株主配當金一、〇〇〇（年八分の割）▲後期繰越金六一七

麻統制會創立總會

【東京電話】重要產業團體令にもとづく麻統制會の創立總會は二十五日帝國ホテルに開催、定款、創立費およびその徴收方法ならびに初年度收支豫算、初年度における賦課金の賦課徴收方法、手數料および統制手數料の徴收方法など決定商工大臣より認可された、なほ初年度收支豫算は九十九萬六千八百六十八円である

平北の桂研鑛山

朝鮮鑛業振興が買收

朝鮮鑛業振興ではかねて平北江界郡の桂研厚生鑛山（鉛、亞鉛鑛）を買收すべく交渉を進めてゐたが今回價格五十五萬円で商談成立したことになつた

同鑛山は今後鑛振の直營に移されることになつた

また最近鑛振の委託經營となつたものに平北龜城郡の龜興（黑鉛）鑛山、江原道寧川の史内螢石鑛山、忠北忠州郡の忠州螢石鑛山などがあり、これで鑛振の直營としては蒼寶（銅）丹提（水鉛重石）螢嶺（螢石）板項（重石）大藏特殊（ニッケル）華川（鉛、亞鉛）桂研厚生（鉛、亞鉛）の七鑛山、委託經營として は桃李稼（黑鉛）伏木（黑鉛）龜興（黑鉛）史内（螢石）忠州（螢石）の五鑛山を擁することになり同社今後の積極的活躍が期待される

經濟會議所問題

日商會頭藤山愛一郎氏は、廿六日總會終了後府民館特別室で記者團と會見、經濟會議所問題をはじめ工業界當面の諸問題について大要左の如く語つた

經濟會議所案は來議會へ提出することに決定をみてをり成案を得次第內示してもらふことに政府當局の諒解を得てゐる經濟會議所の構成分子としては業種代表的な考へ方が加味されてをり役員の選出方法は選擧と特定人物指名の兩制度を併用することにならう、構成分子として業種別代表者を中心とすることは現在の商工會議所と同樣であるが要するにその範圍をもつと擴大するわけである、統制會とは差當つて密接な關係はあるまい

◇……自分が南方諸地域を視察して感じたのであるが、商工業者も最早や南方へ漸次進出してもよい時期に到達してゐる、特に輕工業、雜貨工業の進出が必要と思はれるが、進出者は創意のある中小商業者にして從來の經驗を生かし、且つ現地資材を活用する決意でなければならぬ、中小商工業者の南方進出は救濟のために進出させるのではなく大東亞共榮圏自給經濟確立の國策上これら業者の進出が必要であることを銘記すべきである

◇……戰爭の長期化に伴ひ、今後重化學工業の振興發達が益々必要であるが、重化學工業に關する限り朝鮮は內地以上によい素質をもつてゐるといふことを今回の懇談會を通じて充分に認得し非常に心強く感じてゐる次第である

なほ同氏は廿七日朝京城發平壤へ赴き日機製鉛精製工場を視察、廿八日平壤商議主催の現地懇談會へ臨席、同夜平壤發列車で一路歸東する

和順福巖間鐵道

鮮鐵が借入經營

鐘紡が和順炭田開發のため建設中であつた和順福巖間鐵道十一キロ一はこの程完成、十月一日から營業開始されるが、これを鮮鐵が借入、局線經營になることゝなり廿六日附官報をもつて告示された

食糧證券發行

【東京電話】廿五日支拂の食糧證券一億一千五百萬円はうち二千五百萬円を現金償還し殘金額九千萬円を左記により借替發行する

證券の名稱、食糧證券（第七回）▲發行額々面、九千萬円▲割引步合、日步六厘五毛▲發行日、昭和十七年九月廿五日▲支拂期日、昭和十七年十一月廿五日▲發行方法、日本銀行引渡

電力消費規正

一般の協力を切望

協力會議で倡大臣發言

【東京電話】大東亞戰爭に勝ち拔き、皇國の戰勝を決定的ならしめるために新船の建造に重點をおき重要物資の輸送に最も適した能率的な標準型の船舶を計畫的に建造せしめてゆくいはゆる計畫造船を實施してゐる、この計畫造船の實行を確實にするために造船統制會や產業設備營團の機能を活用してこの順調なる進捗をはかつてゐる、なほ造船の建造に力を注いでゐる、船腹の增加をはかると同時に一方外國船の傭ひ上げ拿捕船の活用沈沒船の引上げ利用などについてもまたあたふ限りの努力を傾けて輸送力の增強をはかつてゐる、船腹の增强と並んで重要なことは建造船腹を國家の要求するところに從つて最も能率的に動かすことである、この目的をもつて本年四月戰時海運管理令に基き總トン數百トン以上の汽船と百五十トン以上の機帆船は御用船その他特殊のものを除き全部これを國家が徵用して、船舶運營會といふ特殊法人に貸下げこの船舶運營會をして政府の樹立した輸送計畫通り一元的かつ能率的に運行せしむることとしたのである、しかして船舶の運航能率を高めるためには運航自體を計畫的一元的に調整することが肝要であることはいふまでもないがしかしこれのみでは未だもつて足れりとせず、主要な港の荷役業者を港毎に一つに纏めて荷役設備、勞務、資材の相互融通により荷役能率の綜合的向上を企圖してゐる、次ぎに船員の問題であるが、計畫造船の進捗に對應して大量の優良船員を必要とするため政府においては高等商船學校の新設その他船員の教育、養成施設の整備擴充をはかるとともに一方これまで各船會社の手で別々に船員の募集をしてをつたのを船舶運營會をして纏めてこれに當らしめ海事思想の普及と相俟つて海上要員の充實に努めてゐる、これは獨り船員充實の問題だけでなく計畫造船の實施にしても亦運航能率の向上にしても一般國民が海上輸送の重要性を十分に認識して海事の振興に積極的協力を寄せることが所期目的の成果を收める條件である、生產力擴充の進捗にともなふ工場の新設、擴張などにより電力の需要は逐年增加を示してゐるので新規電源の擴充については水力發電の開發に重點をおき、かつ資材、勞力の現狀とも照し合せ急速に發電力を增加せしめ得るものに力を注ぐことゝしてゐる、新規電源の能率的開發とゝもに既存の電力設備を最高度に働かせるためにさきに發電の管理および配電の統合を實施したが限りある設備をもつて膨脹して止まない需要を萬遍なく充たすことは不可能であるから極力不急不用の消費を抑制して、必要な方面に對する供給を確保せねばならない、ことに電力の相當部分が火力發電によるものであることを考へれば戰時下もつとも貴重なる石炭資源愛護のためにも石炭の能率的使用をはかるとゝもに電力の消費規正は今後ます〳〵合理的かつ徹底的ならしむるの必要を痛感する次第である、なほ來る十月から來年三月までの本年度下半期における電力需給の見透しについて見るに本年は七月から八月にかけて降天つゞきのため水力發電量に著るしい減少を來したが電力の供給を制限せずに通し得たのは全く火力發電所を總動員してその貯藏炭を焚いて水力發電の不足を補つたからである、從つて冬季の渴水期に備へて本年下半期においては電力消費規正を行ひなほかつ多量の石炭を調達せねばならないかやうな次第で電力の消費規正については聖戰の完遂に缺くべからざる貴重な國家資源の愛護の見地からもつとも眞劍に一キロワットの電力でも無駄にせず國家に必要とする方面の供給に支障を來さしめないやう國民一般の協力を切望するものである

第三四半期起債

六億一千八百萬圓

【東京電話】大藏省では二十五日起債計畫協議會を開き、本年度第三四半期（十月—十二月）起債計畫につき審議した結果、發行豫定總額を六億一千八百萬円と決定した、これを前年同期に比すれば三千十五萬円の增加でありまた前期に比すれば一億三百八十萬円の減少に當るがこの起債查定に當つては相當額に達した會社、營團などの發行豫定額を高度の重點主義により資金統制計畫と睨合せ、かつ融通性ならびに起債市場に對する影響などをも勘案して壓縮を加へた

三、四半期起債の金融統制會引受額

【東京電話】本年第三、四半期の起債計畫は廿五日決定したが全國金融統制會では同日興銀に起債引受團廿行八信託各代表者の參集を求め引受團の親引けの一億六千三百五十萬円（二六・五％）につき引受團への協力を申合せ右起債計畫の嚴格なる施行を期することゝなつた

鐵鋼品製造業者の第二次整備案進む

【東京電話】鐵鋼統制會ではかねて商工省の諮問にもとづき第二次鐵鋼製品製造業者整備案を作成すべく企業整備委員會を設定、研究を進めて來たが、すでに▲釘、針金▲鐵線、鋲、ネジ釘▲シャベル▲スコップ、鍬▲鋼線、ツルバシ、ハンマーの四業種については答申を了し目下檢討中の鐵線鋼、電線會についても近く結論を得るはずである

粉碎された米のデマ宣傳
"奇襲上陸"も見事失敗
マキン島へ部下を置去り

【東京電話】海戰忽ちにしてわが海軍に占領されたギルバート諸島北端のマキン島に對し米海軍はこれを奪還しようと選り拔きの海兵約二百名を二隻の潛水艦に乘せて去る八月十七日未明同島に奇襲上陸したが、守備に當つてゐたごく寡勢のわが陸戰隊勇士の全員決死の奮戰と爾後の海鷲の猛爆に一とたまりもなく敗退した

國內輿論の手前一番でも『日本に勝つた』と言ひたい米軍はこのマキン島の戰ひにも大勝利を呼號して『日本兵三百名を殲滅した』とかあるひは『日本飛行機百餘機を擊破して引揚げた』とか稱し誇大宣傳に狂奔したものだ、ところがこのほど同島の鹵獲品や米海兵隊員○○の書いた投降嘆願文の實物などが海軍省に齎され米國のこのデマ宣傳が完全に粉碎されるに至つた

その投降文は次のやうなもので、わが守備隊勇士たちの敢闘とわが海鷲の猛爆にゐたゝまれず敵の主力部隊は十七日夜大尉の指揮官とする六十名の米海兵を置去りにしたまゝ島から敗退してしまつたので逃小舟と氣付いた六十名は大慌てゝ取るものも取りあへず眞先にやつたのがこの投降文を書くことだつた、以下その投降文(全文)

マキン島日本軍指揮官殿、小官はマキン島在島中の米軍の一員に御座候、わが軍は被害甚大にして小官等は流血、苦痛の終焉を欲するものに有之候、われわれは軍規に從つて降伏し俘虜として待遇せらるゝことを希望するとゝもにわが戰死者の埋葬ならびに負傷者の手當を致し度存じ候、この島には現在米兵約六十名が置去りにされ候もわれわれ全員一致降伏を議決致し申候小官はこの上の流血と爆擊とを避くるため至急理解の榮を賜り度懇願申上候

八月十八日　米海兵隊員○○

ところが、この投降文を日本軍に渡すやうに託された原住民が廿三日までにわが軍に屆けてなかつたため、この六十名は日本軍が自分たちの投降を肯んじないものと早合點し、十八日夜になり先を爭つて逃げ去つてしまつたのである、また鹵獲兵器を見ても七、七ミリ機銃、四五口徑トムソン式拳銃、一二ミリ小銃、七、七ミリ式機銃、ミリ二〇口徑自動小銃、ベルグマン自動拳銃、小銃、ゴムボートなどのほか手榴彈、小型拳銃、發煙器、水筒、鐵兜などいづれも重要な兵器ばかりで中にも一三ミリ小銃や七、七ミリ機銃などには『一九四二年製』とハツキリと刻印が捺してあり、この慌てぶりを物語つてゐる

なほ興味あることはこのマキン島指揮官としてルーズベルト大統領の御曹子ジエームス・ルーズベルトが海兵少佐として參加、大勝したと米當局は宣傳してゐるのであるが、この大敗北軍の指揮官とあつては實に噴飯ものである、同少佐は以前ハリウツドの女優と結婚後離婚して辯護士をしてゐたものが開戰と同時に一躍米海兵少佐に祭り上げられたものである

寫眞＝海軍省に着いたマキン島戰利品
向つて左よりトムソン式拳銃、小銃、ル式機銃、自働小銃同式機銃、十三ミリ小銃、自働小銃、トムソン式拳銃、自働小銃、左手前は七、七ミリ機銃、發煙器(中央の丸罐)齎せる小銃(海軍省許可濟第五七一號)

寄留令の心得
九十日以上滯在は居住の屆出が要る
內鮮外人、一齊に適用

本籍外で九十日以上居住するものは寄留の屆出をしなければならないといふ朝鮮寄留令が十月十五日から新しく布かれる、同令の寄留者とは本籍外で九十日以上居住する目的をもつて住所または居所を定めた者をいひ內、鮮、外人を問はず、また現に居住屆を出してゐる者でも一樣に十月十五日から十四日間內に屆出ることとなつてゐるが、總力聯盟ではその國家的意義の重大なのに鑑み趣旨の周知徹底と實績の成果を收めるため全鮮愛國班員を總動員し十月十日の常會を利用して班員の申合せを行ひ廿日までに班長の手許に屆書を取纏めることとなつた

なほ今後寄留に關する出屆は愛國班長または町總代、區長を經て屆出ることとなつてゐる

第五回戰時貯蓄債券
朝鮮引受は四百萬圓

第五回戰時貯蓄債券ならびに報國債券は十月十五日から賣出される

訪日滿洲國航空部隊
けふ大阪へ

【宇治山田電話】訪日滿洲國航空部隊は廿六日午後名古屋ならびに明野ケ原から大阪に向ふ豫定であつたが都合によつてこれを變更、全機明野に機翼を休め廿七日午後大阪へ飛ぶ筈

南方郵便物
取扱ひ範圍を更に擴大

【東京電話】大東亞戰勃發以來南方への郵便物は英、佛印宛を除き全面的に停止されてをり、ただ本年三月以來南方占領地に在留する邦人に對する往復郵便物のみ取扱つてゐたが、現地郵政機關の復興に伴ひ十月一日より在留邦人に限らず占領地とわが國との郵便物取扱ひを開始する、地域は差當り比島、マレー、スマトラ島、北部ボルネオ、ジヤワ島およびビルマに限られ取扱ひ、郵便物の種類は當分の間第一種の書狀、第二種ハガキおよび第三種定期刊行物で料金は內國郵便と同額である、この金完納の普通及びのものに限られの郵便は檢閱せられるので防諜上國家の不利益となるやうなことは絕對に書かないやう注意が肝要である

警防に薫る勳
殉職兩氏へ功績狀を傳達

去る廿四日京城南大門通火災現場で殉職した京城消防署宇野東錫氏及び本町警防團分團長大阪甚三郎氏に對する功績狀が廿六日午後二時から京畿道警察部長室で原田警察部長から正副本町署長、野口京城消防署長に夫々傳達された

この功績狀は軍人の金鵄勳章にも比すべきもので、今回兩氏の殉職はまさに消防手、警防團員として殊勳甲に値するものであり故大阪氏には警防團總裁田中政務總監から功績狀、功勞章に金一封を、又宇野氏には小磯總督から功績狀、功勞徽章に金一封が下附されたものである【寫眞＝(下)傳達式】

宇野部長の署葬
きのふしめやかに執行

廿四日夜の京城南大門通都筑商店火災に際しその消火作業中壯烈な殉職を遂げた京城消防署勤務宇野東錫消防部長の消防署葬は廿六日午後四時から京城消防署構庭でしめやかに擧行された

葬場には高知事、原田警察部長ほか關係方面代表三百餘名が列席、先づ野口消防署長から部下の强い責任感を讚へ哀惜の情を綴る弔辭があり、消防協會長丹下警務局長(代讀)高知事、古市府尹以下官民有志の弔辭があつて遺族側から父君基成氏(叔)妻女泰姬さん(二九)の挨拶に引續いて來賓の燒香があり同五時終了した【寫眞(上)署葬】

大阪氏は團葬

廿四日夜南大門通三ツヅキ自轉車店の火災に際して天晴れ警防團の華と散つた本町警防團第二副分團長大阪甚三郎氏の團葬は廿八日午後四時半から南大門國民學校で佛式により執行される

なほ同氏は廿四日附をもつて本町分團長に昇進した

ジヤワの正月にお年玉
我軍當局の親心

【バタビヤ特電】(廿六日發)近くお正月を迎へるジヤワ原住民に軍當局では特別給與支給のお年玉を贈ることとなつた、原住民の風俗慣習を尊重する現軍當局では來月十二日がジヤワの元日といふので軍當局軍政機關の全使用原住民に對して特別手當を支給の外俸給の前借を許可することとなつたがオランダ時代民間の習慣を公に取上げたことはかつてなかつたことで皇軍治下原住民は明るい行政下の正月に擧つて感謝してゐる

貧しい人々へ寄附

…▲金五十円＝西四軒町四七小林芳之助さん▲金廿円＝苑南町九八金野知さん▲金廿円＝西四軒町高野山別院盛田淺海さんはそれぞれ廿五日元町佛教慈濟院を訪れ寄附した

大金剛山を征服
實戰隊形の野營演習
善隣商業生

第一線將士の勞苦を偲んで善隣商業學校第五學年生徒九十名は來る廿八日から三日間同校配屬將校武藤大尉指揮のもとに金剛山野營演習を實施することになつた、一行は實戰隊形を組んで演習を行ひつつ大金剛を征服することになつてゐる

なほ車中では鐵道輸送訓練を行ひつゝ現地に到着、金剛山麓では直ちに天幕露營を敢行、二日目には長安寺、四川橋、久米山莊間二十粁の難路强行軍を行ひ同夜はまた九龍淵までの夜行軍を行つて三日目には九龍淵附近で壯烈な肉彈戰を展開しつゝ一萬變を經て外金剛に到着、演習日程を終る

逆卷く波浪に果敢救助信號
海洋少年團員を表彰

【東京電話】豪雨と風浪の中を漂流すること數時間、日頃鍛へた海洋精神を發揮した海洋少年團員二名の勇敢な行爲がこのほど明かになり大日本海洋少年團總長竹下大將から表彰狀および自筆の色紙が贈られることになつた、話は去る八月三十日橫須賀海洋道場で行はれた第十三回明治神宮國民錬成大會海洋競技第三日長距離競漕に救助艇に乘つて海上通信連絡をしてゐた橫須賀市下野谷海洋少年團員市川政君と稻荷合君は途中落伍者五名を收容してなほも警戒に當つてゐたが機關が故障したので、漕で漕ぐうちに激しい風雨になり波浪は高くなるばかりで遂に沖合へ流されてしまつた、しかし空腹と疲勞を物ともせず漂流數時間必死になつて手旗信號で『救ひ賴む』を瀨の海上に送つてゐると、折から十二天島の沖を航行中の橫須賀海軍砲術學校の汽艇が双眼鏡の中にこの信號を發見、直ちに全員七名を救助して海洋道場に曳航することが出來たのであつた、この事實は當時海上が混亂してそのまゝ埋もれてゐたところ砲術學校から海洋少年團本部宛に

『遭難中における兩少年の機宜を得たその勇敢な行爲は全國少年の模範たるべきものであるから是非表彰して欲しい…

朝鮮神宮奉贊體育大會(第三日)
意氣と體力の結集
けふ掉尾の敢闘展開

大東亞戰完遂への意氣と體力を錬成する第十八回朝鮮神宮奉贊體育大會はけふ廿七日、四日間に亘る廿種目の全競技行事の幕を閉じ、午後五時半から京城運動場で閉會式を擧行してこゝに大會の幕をとぢることとなつた

この日は最後の決勝をめぐつて各競技に激烈の敢闘が展開されるであらうが、その中でも漢江の護りは擧國日本の誇りと光榮を昂揚、京城府運動場の京城女師生による薙刀、それに體振會行團の演技は大會掉尾を力强くかざるものである

廿六日(第三日)の大會成績は左の通り

相撲

◇青少年の部

京電2―1新義州
全南2―1咸鏡
新義州3―0釜山
京電2―1咸鏡

◇中等(第一豫選)

春農2―1釜商
邱中3―0電機
井邑農3―0平中
元商2―1江界
水農2―1京商
東萊2―1裡里
裡農3―0電機
井邑農2―1京商
京農2―1江商
東萊2―1京商
東萊2―1春農
裡農3―0邱商
平中3―0京中
京農2―1元商
水農2―1春商

▲第二豫選

春農2―1井邑農

全南2―1咸鏡
新義州3―0龍鐵
京電2―1全南
龍鐵3―0釜鐵
全南3―0新義州
京電3―0釜鐵

▲總順位　1京電(四勝)　2全南(三勝一敗)　3新義州龍鐵(二勝二敗)

京農3―0…
裡農3―0…
邱中2―1…

登行强行軍

(水原神社―京城運動場)京城第七分隊(金浦通、武本守正、大林奉秀、…)6時間55分、2京城第五分隊(平山、崔春培、李明熙、大原)3京城第九分隊(清水、玄彰、竹村、丁原…)

ラ式蹴球

自轉車

◇中等決勝

京師17(8―0 9―0)0…

◇競走車二千米　1(京畿)3分18秒8、2金西(京畿)3…

◇中等一升…(松都中)2分10秒4…(松中)3平山…

野球

籠球

卓球

排球

軟式野球

軟式庭球

硬式庭球

蹴球

寫眞＝公開された銃劍術試合

夕刊 京城日報

皇軍へ感謝の決議
首相、烈々たる所信披瀝

滿場一致可決

第三回 國民總常會ひらく
一億の決意と協力こゝに凝結

【東京電話】大東亞戰爭を戰ひ拔く一億國民の決意と協力を盛つた第三回中央協力會議總會は二十六日午前九時より東京丸ノ內大東亞會館に開催された、全國民の中堅層より選出された二百二十名の協力會議員は定刻より會場に當てられた四階會議室に參集、協力會議議長安藤翼贊會副總裁は會議場正面に揭げられた大日章旗下の議長席に着席、政府よりは翼贊會總裁たる東條首相兼陸相を始め各閣僚、翼贊會本部より後藤事務總長、小平總務局長ほか各局長その他關係職員出席、外地關係官ら出席、午前九時十分より開會式に入り恭しく宮城遙拜、國歌奉唱など國民儀禮ののち東條總裁初め諸員起立、敬虔に宣戰の大詔を奉讀、昨年十二月八日歷史的大東亞戰爭勃發當日第二回中央協力會議の劈頭奉讀した對米英宣戰の大詔はこゝに再び奉讀され全議員一同は肅然と襟を正し決意を新にし聖戰完遂を誓ふ、ついで護國の英靈に對し感謝の赤誠を捧げ皇軍將兵の武運長久を祈念するため『海行かば』の奏樂裡に一分間の默禱を捧げ、終つて兵庫縣代表睦虎十郞氏は全議員一同を代表して東條總裁の前に進み『われらは畏みて大御心を奉戴し和衷協力以て大政翼贊の臣道を全ふせんことを誓ひ奉る』と翼贊運動の誓ひ言葉を述べ、かくて開會式は嚴肅な雰圍氣の裡に終了、同二十分よりたゞちに總會に入つた、劈頭東條首相には總裁としての立場から大東亞戰下に處する烈々たる所信を簡明率直に披瀝一億國民に力強く呼びかけ全議員一同に多大の感銘を與へた、かくて同四十五分滿場を壓する拍手裡に挨拶を終つたが、首相は樞密院の審查委員會へ出席のため退席、ついで安藤協力會議々長登壇挨拶を述べ、翼贊運動であらねばならぬと議長就任の挨拶を兼て全議員の協力を要請、同五十五分挨拶を終了、安藤議長より大東亞建設の大業に身を捧げられた英靈ならびに皇軍將兵に對し感謝決議をしたい旨を諮り高木協力會議部長感謝決議を朗讀、滿場起立してこれを可決、議長より右の決議はただちに陸海軍兩者を通じて現地軍に送達したいと述べ協力會議員を代表して陸軍省には堀江英二郞、上田與一郞兩氏、海軍省には南塚恒治、上野芳松兩氏をそれ〴〵議長より指名して傳達方を依賴、ついで後藤事務總長より翼贊會の現狀につき報告、ついで政府側各大臣の發言に入り陸相（木村次官代理）海相（岡軍務局長代理）および谷外相よりそれ〴〵重要發言を行ひ、軍官民は一致協力、鐵石の團結と必勝の信念とをもつて征戰完遂に邁進せんと確固たる政府の所信を披瀝した、ついで安藤議長から議長代理として井上三郞氏（各界）を指名し會議の運用方針につき說明ののち同十一時より會議員提出議案說明に入つた

皇軍に對する感謝決議

【東京電話】廿六日の第三回中央協力會議第一日において滿場一致可決せる皇軍に對する感謝決議左の如し

大東亞戰爭開始せられて茲に十閱月皇軍將兵は海に陸に米英の前進基地を擊碎し東亞の大天地皇風に靡かざるところなく日の丸の光を仰がざるの地なししかも重慶政權に對する膺懲の劍はいよ〳〵光芒を加へ、北邊の守りは嚴として鐵桶の如し、これ實に皇軍將兵各位が萬死報國の軍神的精神を發揮せる勇戰敢鬪の賜物にしてわれら國民の感激措く能はざるところなり、われらはこの大戰果によりて敢て驕らず必勝不敗の信念をいよ〳〵强化し戰爭完遂のために銃後協力の忠誠を致さんことを期す、茲に謹んで貴き護國の淚に陸に空に護國の華と散りたる幾多の英靈に對し敬弔の誠を献ぐるとともに、大東亞の東西南北において奮鬪せられつつある將兵各位に對し深甚なる感謝の意を表す

中央協力會議＝東條首相の演說

至妙の作戰に配するに
國內鐵石の結束
振古未曾有の重大時局突破へ
東條首相挨拶

惟ふに大東亞戰爭は建國三千年國家の精華として輝く帝國が東亞安定に關し隱忍に隱忍を重ねたる積年の努力が悉く水泡に歸せんとするに際しやむにやまれず蹶然起つて米英の一切の障礙を破碎せんとする世界未曾有の大戰爭である、徹底的に米英を擊碎し、あくまでも米英をして帝國の不拔の意志に屈伏せしめて多年にわたる禍根を芟除せざればやまざる大戰爭であり、中途半端に葬り去ることの出來ない大戰爭である、しかしてこの大戰爭は 御稜威のもと全世界を震駭せしめたる帝國の一方的大戰捷によつて發足したが、この大戰果に呼應して國內にあつても軍官民一體眞に協心戮力の實を發揮しつゝ各方面にわたつて飛躍的に國內戰時態勢の整備を行つて來た、かくして帝國は戰略的にも政略的にももつとも有利なる態勢を確立して輝くべき短期間においてつぎの戰爭段階に對する準備を完成した、しかしながら米英は敗戰を重ねて前途まさに暗澹たるものあるにも拘らず、彼らの經濟力就中その生產力に恃んで强靭にも喰ひ下り執拗にも反攻せんとする氣構へを示してゐる、蓋し米英のこの氣勢たるや決して輕視すべからざるものがある、すなはち米英兩國は生死の最後の關頭に立つてその數百年來蓄積せる富と力とを傾けてわれに戰を挑んでゐるのである、もとより 御稜威のもと天佑神助の加護あり盡忠無比の皇軍を擁する帝國としては斷じてこれを恐れるものではないが、一日と雖も油斷をすることは許されないのである、諸戰における赫々たる大戰果は最後の勝利の確信をいよ〳〵絕對不動のものとしたが、今後眞に國民が渾然一體總力を合せてこそはじめて最後の勝利を確保し得るものと信ずる、由來戰爭は意志と意志との戰ひである、頑張合ひの戰ひである、總力戰たる近代戰爭においては特にしかりである、從つて今後における大東亞戰爭の樣相は文字通り各國がその興廢存亡を賭しての戰ひであり、最後の五分間まで頑張り通したものに勝利の榮光は輝くのである、戰ひは正にこれからだといふ所以は實にこゝにあるのであつて一億國民が奮起ししかもあくまで頑張りを必要とする、洵に今日より大なるはなしと申すべきである、しかして米英の頑張りは經濟の淵に臨む足掻きであり、日本の頑張りは光明に滿ちてゐる建設の叫びである、こゝに日本と米英との間に本質的な相違がある、今やわれ〳〵の父人は、われ〳〵の兄弟は勇躍陸に海に、空に彈丸雨飛の間敢然たる戰鬪を續けつゝあるのである、これを思ふの時直接彈丸の中をくぐらない銃後國民といへども熱き血汐の胸に高鳴るを覺えいよ〳〵滅私奉公の誓ひを固くせざるを得ない、昨年十二月八日あたかも中央協力會議の當日 畏くも宣戰の大詔を拜し一億國民が忘れんとして忘れ得ざるあの感激の日より十ケ月間、こゝに再び相會して中央協力會議を開催することゝなつたが、私は今や一億國民はさらに思ひを新たにし靜かにうちに顧み今後一層の努力を傾注すべき時期であると信ずる、即ち今日こそ一億國民の一人々々が眞に祖國の運命を擔つて立つてゐるのであるとの自覺を新たにし、各自の實生活においてもあくまで戰時の心構へをもつて苟くも各人の有する全智全能を發揮するところなく戰爭目的完遂に集中すべき時期である、かくして陸、海軍の水も洩らさぬ完璧の陣容その赫々たる至妙なる不斷の作戰に配するに銃後官民の岩をも徹する鐵石の結束をもつてする、これ正に大東亞戰爭目的完遂上不凡の[illegible]にしてしかも最も根本的なる絕對要件である、しかしてこの國民鐵石の結束あつてこそはじめて戰力は倍加せられ飛躍的なる生產擴充も可能となり如何なる困難の克服も容易なのである、この結束强化のため私は機會ある每に色々と所信を披瀝して來つたが、これを要するに國內結束の根源はお互が苦樂を分ちつゝ親子兄弟の氣持になり生死をともにする戰友の氣持になつてこの潤ひのある力强い氣持を實生活のなかに如實に具現して行くことにありと信ずる、ここにはじめて絕對の信賴が生じ彼我の協力が生れる、流言蜚語も第五列の策謀も施すに術なき鞏固の團結が出來るのである、政府においてもこの振古未曾有の重大時局にあつて國內結束の見地より上意下達と下情上通の必要を切實に感じ、一度その核心に觸れその緊急性を認むるや直ちに具體的の對策を講じて來てゐるのである、抑々大政翼贊會設立の趣旨もここにあるのであつてさきに大政翼贊會が國民運動の中核體として各種の國民運動の傘下に收め盛り上る國民の力によつて眞に强力なる國民運動の展開をはかりつゝあるのもまたこの趣旨にほかならない、今次開催せられたる中央協力會議の主目標とするところも實にここに存する、今や大政翼贊會の活動に期待するところ洵に大なるものがある、本會議は會期僅か四日に過ぎないが、各位においてはその卓越せる識見と豐富なる體驗とをもつて戰爭必勝、建設必成を期するため國內結束の强化に關する具體的措置の檢討に會議の中心を置き戰爭下國民の心構へをもつて大東亞戰爭完遂上における今次國民運動の價値を遺憾なく發揮せられんことを祈つてやまない次第である

京商初の議員推薦會
來る廿九日開催

松原會頭の勇退に伴ふ京城商議の一級議員補缺選擧は、既報の如く選廳選擧により十月廿一日執行されるが、同商議はこれに備へて來る廿九日午後二時から同所に役員推薦會を開催、松原氏の後任に京電取締役高橋付[illegible]長穗積眞六郞氏を推薦すべく申合せを行ふと同時に一級有權者に對し穗積候補に對する投票方を依賴することになつた

長期戰完勝へ
戰時生活を徹底實施
安藤議長挨拶

【東京電話】安藤議長挨拶要旨次の如し

私は議長として重き任務をになふことゝなつたが、誠意を傾けてこの會議に拔議展開せらるる國民の心情誠意を傾聽し、さらに當然常會の各委員會の審議を通し、また翼贊會關係の各事務當局、協力會議運營委員會は勿論關係各官廳方面の協力の誘掖に與り、出來る限り衆議統裁、下情上通の適正を期し、これを通じて政府と國民との間に益々緊密なる關係を釀し出し、これを强化するとともに翼贊運動が眞に國民の中から築き上げられ盛り上つて來る翼贊の新體制と一途實踐の推進力となる機線となり紐帶となりやがて翼贊運動の全面的飛躍發展に寄與せしめたく念願してゐる次第である、すでに御承知の如く去る五月十五日の閣議決定をもつて大政翼贊會の機能刷新に關する方針が明らかにせられこれにともなふ翼贊會の機構も改編せられ人事その他にも更新を見た、これに關聯して中央協力會議の機構も人員の點の銓衡範圍ならびに人員の點にも新構想が加へられ、地域職域などにおいて平素挺身實踐に當り敢鬪せられてゐる有德篤識の方々が多數參加せらるることとなつたので、今次の會議においては自ら國民の士氣を一層昂揚し、ますます國民組織の確立を期するとともに長期戰完勝のための戰時生活を徹底[illegible]

三特使を招待
現地陸海軍主催晚餐會

【南京廿五日同盟】汪主席との重要會談をはじめ古賀支那方面艦隊司令長官との交驩、南京市民歡迎大會出席など滯京第四日目の多彩な行事を終つた平沼、有田、永井三特派大使以下使節團一行は廿五日午後七時より國際クラブに開かれた現地陸海軍共同主催の晚餐會に臨んだ、國民政府側から陳立法院長ほか各院部長官、大使館側から重光大使、堀田、日高兩公使以下關係官が出席、陸軍側からは畑支那派遣軍總司令官、河邊總參謀長以下、海軍側からは古賀支那方面艦隊司令長官以下出席、畑司令官は現地陸海軍を代表して歡迎の挨拶を述べ、これに對し平沼特使より謝辭を述べ、相互の健康を祝した

することに會議の重點が集中せらるるであらうといふことを確信し、かつ念願いたす次第である

既得の戰果に
斷じて安んずるな
一層の總力發揮を望む
海相發言

【東京電話】第三回中央協力會議における嶋田海相の發言要旨左の如し

大東亞戰爭 開戰以來陸海軍の赫々たる戰果は御承知の通りで作戰が豫定の進行をみつゝあることは誠に御同慶の至りである、翻つて米英の動向について最近看取される顯著なることはその彪大なる資源と生產力を恃みとして極力頹勢の挽回に乘出してきてゐることで、この際わが國としては斷じて既得の戰果に安んずることなく、また徒らに敵の彪大軍費の外貌に畏怖することなく國家の總力、諸機關をあげて戰爭完遂の一途に結集し、戰力の擴充、戰局の發展に邁進し以て戰ひ拔き勝ち拔くために擧國必死の努力を盡すべき重大なる時機にある、海軍としては今後ますます陸軍と緊密なる協同をもつて戰果の上 聖慮に應へ奉り下全國民の期待に背かざらんことを深く期してゐる、この際

銃後一般に 望むところは總力戰態勢の强化擴充である、すなはち國民士氣の昂揚、資源の急速開發、生產力の增强、食糧の確保、海陸輸送力の增進といふごときことが陸海軍の作戰と關聯して銃下の急務なるを痛感する、もとよりこれらは、かねてより關係當局より調せられそれ〴〵對策も講ぜられてゐるが、各位は地域、職域各方面における國民各層の代表者的立場にあり、したがつて國民一般と密接不可分の接觸を有してゐるが故に、私は各位の御指導が國民總力の發揮に重大なる關係あるを確信するもので、今後一層の御努力を切にお願ひする、なほ

この機會に 國民各位から終始[illegible]溢るゝ御後援を賜つたことに對しさらに海軍の戰死者あるひは出征將兵に對し深甚なる御同情と御援助とを寄せられたことに對し衷心より御禮を申上げる

內相發言要旨

長くも 天皇陛下におかせられては銃後の民草の上に深き大御心を垂れさせ給ひ、先般戰時下における國內一般の狀況殊に國民總努力の實相を視察せしめらるゝ思召から全國各地に侍從を御差遣あそばされたところ國民が戰時下能く時局の重大性を認識し各々その職域において日夜精勵しつゝある實情を御滿足に思召され八月十日東條首相に對し長くも國民の精勵を御滿足に思召さるゝやうにとの御旨の優渥なる御言葉を賜りたる由拜承いたし深く感激いたしたのである、次で同十六日小倉より侍從御差遣に關し國民が非常なる感激をいたしましたる狀況ならびにその後における職域精勵の模樣などを具さに奏上いたしましたるところ重ねて有難き御言葉を賜つた、銃後國民の上に注がせ給ふ叡慮の程を拜しまして、たゞ〳〵恐懼感激のほかない、一億國民は感激興起相率ゐていよ〳〵奉公の誠をいたし 聖旨に應へ奉らんことを期せねばならぬ、大東亞戰爭勃發以來擧げられました戰果により今や東亞の天地全く敵勢力の蠢動する餘地すらあるを許さざるに至り、帝國の大東亞建設といふ崇高なる理想が着々その實現の步を進めつゝあることは國民としてまことに心强き限りであり、日夜奮戰を續けられる將兵の勞苦に對しては衷心感激感謝に堪へない、しかしながら全地球の半ばを蔽ふ太平洋、印度洋を含む大東亞の廣大な地域にわたり現に活潑なる大作戰が一瞬一刻の弛みもなく續けられてゐるのであつて戰ひの究極の目的たる米英の徹底的打倒を達成するがためには極めて長期にわたる戰爭の繼續を覺悟せねばならぬ、長期戰を勝ち拔く國內の構への根本要素は國民の昂揚される士氣にある、國家のためには喜んで困苦を迎へ進んで艱難に當る信念にあると深く信ずる、卽ち結集せられたる翼贊政治力、刷新せられたる國內體制によつて强化せられたる翼贊運動によつて國民的團結の血を盛り、隆々たる皇國民不退轉の氣魄を漲らしめることで、これこそ有難き聖代に生を享くるわれら臣民の信念であり、光榮ある任務である、戰爭目的完遂のために南方の建設と相俟つて國內の總力を結集するために國家各般の需要を官民各員の精勵倍加と事務處理の簡易敏速とにより達成し、かつ國民の意圖するところを國民の一人一人に徹底的に納得せしめることは政府の深く念とするところである、これがためさきに政府は行政簡素化の大方針を決し着々[illegible]してゐるが、地方行政機構に於ても[illegible]國民生活と關係深き地方行政の機構にして强力なる運營を期する所存である、國の意圖するところを深く浸透徹底せしめ國民生活の確保安定を圖るため、部落會町內會などをいよいよ活用することとし殊に部落會、町內會などを通じて大政翼贊運動を國民一人一人の身近に感ぜしめる方途を講じたのであるから戰時各般の行政と國民生活の諸機能とな[る]正に渾然融合されることゝなつた、これを要するに地方行政當局の要務は銃後戰力の培養强化に積極的に協力寄與するにありと信ずる次第である

日獨海軍、緊密な協同作戰
帝國海軍の大西洋出擊
獨軍司令部發表

【ベルリン廿五日同盟】獨軍司令部は帝國海軍の大西洋出擊ならびに獨伊海軍の緊密な協同作戰につき廿五日左の如く發表した

日本海軍は日獨伊三國同盟締約國の海軍協同作戰遂行上大西洋に作戰中の樞軸海軍と接觸を保つに至つた、日本が今次大戰に參加して以來印度洋において日獨兩海軍部隊の協同作戰はすでに遂行されてゐたのであるが、今や日本潛水艦の大西洋出擊によりこの方面においてもまたはじめて日本および樞軸軍の軍事的協力が遂げられるに至つた、この事實は原則上實際上極めて重要である、日本潛水艦一隻は獨海軍基地に寄港してのち再びその作戰海域に向つた

聲明を決議
東亞經濟朝鮮懇談會
第二日

東亞經濟朝鮮懇談會第二日目の廿六日は午前九時より開會、前日に引續き松原朝鮮委員長が座長となつて電力部に化學工業部門の懇談會を開催、劈頭上瀧殖產局長より朝鮮における電力擴充と化學工業振興の具體方策卽ち半島電力資源の重點的開發促進および化學工業振興と資本、資材と技術との三位一體的連繫の必要性を強調せる說述を行ひ、次で內地側日本發送電會社理事蘇皮氏より內地からみた朝鮮電氣事業の特異性と大東亞共榮圈建設に對する朝鮮經濟の分擔使命について意見の開陳あり、引續き滿洲電業會社電力課長野村欽三氏より滿洲電氣事業の特異性並に將來の電源開發計畫の概要を說明、續いて今井西鮮電氣社長、飯原城大教授より半島の電力擴充と化學工業振興についてそれ〴〵說述、最後に殖產局一致左の重き聲明を決議して二日間に亙る懇談會を終了、正午府民館における日本本部長高山愛一郞氏招待の午餐會に出席、同一時半より大東亞經濟建設大講演會を開催、大政翼贊會翼贊企畫部長菊池主計氏の『大東亞經濟建設について』および日產會社專務山愛十郞氏の『南方經濟』と題する講演を聽取、かくて同四時二日間に亙る[illegible]の幕を閉ぢた

聲明

大東亞自主經濟建設に關する產業配分は國策として明示せらるゝところなり、依て各地域の特性を最高度に發揮し國家計畫に從ひ生產力を擴充し以て必勝不敗の軍備增强を期す

朝鮮經濟は北方における國防經濟確立のためにその使命愈よ大なるものあり、卽ち朝鮮の地域的特性に立脚して

一、農業にありては大東亞共榮圈の食糧確保に應じ治山治水を圖り灌漑排水施設を講じ米穀增產を主として日滿華食糧交流を円滑ならしめんことに協力す

二、鑛業にありては鑛物資源の開發特に特殊鑛の急速なる增產を圖り精製及び加工施設を整備し軍需及生產資材の充足に協力す

三、電力にありては豐富に賦存する水力電源を綜合計畫に基き開發を促進し國防工業及びその他の工業の發展に協力す

四、化學工業にありては電力及び資源における朝鮮の立地的優位性に基き技術を向上せしめ南方資源をも活用し特に輕金屬工業及び有機合成工業の發展に協力す

右聲明す
昭和十七年九月廿六日

法王廳、國府に接觸

【ローマ廿四日同盟】バチカン筋より得た情報によれば、バチカン當局では、中國におけるカトリツク教徒の大部分が南京國民政府の勢力下に存してゐる事實にかんがみ、同政府と事務的接觸を保つ必要を認め目下その準備を進めつゝある模樣である、事實上この事務的接觸に當るのは北京に駐在する駐華バチカン代表ザニン師またはその部下の教職者と見られる、しかしこれを直ちに南京政府承認の第一步と解するのは早計であるが日本および日本の東亞共榮圈建設に積極的好意を有してゐる法王廳特に法王ピオ十二世が右の便法によつて東亞新秩序に連絡をつけようとする努力の現れである

行政改革遲延せん
新官制案公布は十月十日頃

【東京特電】政府は今次行政機構の大改革を斷行するため行政機構簡素化、大東亞省設置、官吏待遇改善問題に內外地行政の一元化等の諸官制案を閣議を以て決定、直ちに樞府御諮詢の手續を取つたが、目下審議中のものは行政簡素化を中心とするもので、大東亞省及び內外地一元化關係は未だ審議着手に至らず相當遲延するものと見られる、卽ちこれ等の官制改革案は頗る大で行政簡素化案のみでも甚だ複雜を極め法制局ではこれが處理のため大多忙を呈してゐる、從つて十月一日を期した新官制案の公布は早くも十月十日ごろとなる模樣で、朝鮮における諸官制の改正實施もこれに伴つて當然延期されることとなつた

內閣辭令（二十五日附）
【東京電話】
判事 山本淳一
同 桑原[illegible]
同 小野　夫
フランス國印度支那派遣特命全權大使隨員仰付らる

總督府辭令（廿五日附）

▲（奏任）本府農林事務官（七等）命新義州營林署在勤▲穀物檢查所技手松淵重治郞任穀物檢查所技師（七等）▲伊東高麿夫任城大助教授（六等）命醫學部勤務▲大神盛正任城大助教授（七等）命醫學部勤務▲溝口一郞任城大助教授（七等）命醫學部勤務命藥理學第二講座分擔▲（秘書官室）本府屬安納軾任道理事官（六等）命京畿道在勤▲忠南警部岡村晉松任道警視（八等）命忠南在勤▲（鎭南浦署長）道警視山田熊雄依願免本官▲（海州刑務所）保健技師安田光男依願免本職

＝人＝

◇佐久間俊一伯爵（京南鐵道取締役）廿六日入城半島ホテル
◇高宮太平氏（本社々長）東上中のところ廿六日午前七時四十五分歸城
◇淺野嘉氏（同盟通信京城支社長）東滿國境地方視察中のところ廿六日午後二時十二分歸城

時の錄音

長し、勇戰敢鬪武功拔群の將兵に畏き感狀の御沙汰。
×
聖戰の宏大無邊なる、ただ感激感謝、一死報國の決意を愈よ固むべし。
×
陸軍防衞召集規則發令、郷軍も國土防衞の第一線へ。
×
總動員銃後、國を護る民草の責務に變りはない。
×
光榮あるこの防衞任務に欣然としてつけ。
×
稔りの秋に入つて、陸軍では在營兵を歸省さす、軍の溫き心遣ひこそ嬉し。
×
懲へ、息子を迎へて團欒する故郷の家の感謝の夜を。

大京城お台所の簡素化

重點處理を目標に

二課新設、一課廢止

十一月一日實施

百萬府民の戰時生活をより圓滑に、より的確に遂行せしむるため京城府の機構改革については豫ねて研究中であつたが、國内諸情勢の推展と中央政府の行政簡素化方針に準じ今回機構一部改革を行ふことゝなり廿六日古市京城府尹談話をもつて次のやうに發表された

府廳機構改革

古市府尹談

時局緊急の所要、事務の重點的處理を目標に府政百般に亘る綜合計畫及調査等に關する機構強化を主眼として今回機構の一部改革を行ひ來る十月一日から實施することとなりました、其の主要なる點を申せば總務部の監査課を廢止し新に調査課を設けて之に主幹を置き監査に關する事項と更に特命による綜合計畫及調査に關する事項並に特命による重要計畫の審議に關する事項を掌らしめる、尚現在概況及び電力課において分掌せし食糧燃料その他物資の需給調整に關する事項を統合一元化し經濟課において處理せしめることゝし、更に防空防護並に兵事徴發及軍事援護事務に關する時局事務を一括して防衛兵務課においてこれを處理せしむることゝしたもので飛躍的進展を遂げつゝある當府として一段の勝進をみるものであります

"鮮内各地に保健所新設"

吉岡技師歸任談

【釜山電話】全國衞生課長會議參列のため東上中であつた厚生局技師吉岡貞道氏は廿五日朝釜山上陸半島保健施設の新構想につき次の如く語つた

内地では本春議會を通過した國民醫療法實施のため目下細則審議中で來月初旬には公布を見る筈であるが朝鮮はこれと別個に半島の特殊事情を加味して制令『醫療令』を發布し現在の醫療機關に大改革を加へ個人主義的醫療體制から全體主義的新體制に改め豫防と治療を併行させるため鮮内主要都市には國民保健所を新設して結核豫防、一般營養問題、母子乳幼兒保健その他保健全般に亘る問題を取扱はせるため來年度豫算に相當額の經費を要求してあるからこれが實現すれば半島の國民保健運動も相當活潑な展開を見得るものと期待して居る

樂園町 電光三〇七四 李炳南小兒科

奉納砂利を背に
勇躍五十粁强行軍
酣の神宮大會第三日

◇……宵には二〇キロの奉納砂利を背に五人の若人が一隊となつて先頭の銀輪隊につゞいて續々と强行軍してきた、黑幻けした顏の頰に玉なす汗の汗が行軍の苦を語らす

◇……未だ明けやらぬけさの五時水原神社を勇躍出發、相當有力な敵陣に包圍されてゐる京城運動場の友軍を救援する行軍な、ふかみ行く京水街道五〇キロを一氣にとんで、先頭の京城隊が一番の榮冠をかち得ていま京城運動場にとびこんだのだ

◇……正午のサイレンが響き渡る行軍の選士隊も廣場の觀衆も直立不動、敬虔な默禱を捧げた、軍國の神々しい一瞬である、選ばれた砂利は競技場にしつらへた奉獻臺を通じて神宮に奉納されるのだ【寫眞＝合同體操】

◇……つゞいて城東中學生による銃劍道が始まつた、颯々と立ちこめる殺氣の中に烈日の氣合と

その買占待つた!

檢事局百貨店の行列を急襲

正しい配給機構を私慾のために紊す京城府内の買占群を一掃して明るい銃後の、消費規正を整へるためには小の虫も殺して置くわけには行かない……と廿六日午前九時半を期して京城地方法院檢事局佐藤、伊藤、梁地、鈴木三檢事が街頭に進出、各警察署員協力の下に府内五百貨店を一齊に襲撃、買めに立ち並ぶ列の間を潛つて常習者と認められる者百餘名を檢擧正午引揚げた、この網にかゝつた者の多くは買占めを業として一日中百貨店内を彷徨し手當りしだいに買漁つてはこれを地方に搬出、あるひは數倍に買値いて三倍以上の法外な利益を占めてゐたもので、その弊害は實に目に餘るものがあつた、今回の檢擧は全く彼等の氣づかぬうちに行はれたものであり、捕へられて忽ち買つた品物を投げ捨て逃跡を晦ますなど頗るところ

【寫眞＝某百貨店の買占め行列に立ち交る伊藤、菊地兩檢事】 ※不用物需要を減じた

大邱府民の赤誠譜
海軍へ十九萬圓

"七つの海"を制覇赫々たる戰果を收めてゐる無敵わが海軍へ感謝をこめた廿萬大邱府民は赤誠を綴る兵器を献納することになり、廿五日山本大邱府尹が武官府を訪れ松本大佐代理村山海軍書記を通じて金十九萬四千五百圓を献納した

豚肉にも輪番制

牛肉に次で今度は豚肉も輪番制の仲間入りをします、食肉不足は牛ばかりでなく豚も今年に入つてトンと姿を見せなくなつたが原因は豚を片つ端からハムやソーセージなどの加工用に消費してゐたもので京畿道では牛肉不足を緩和する意味で豚肉を輪番制に一枚加へることにし二、三日中に京城府内の食肉販賣所に配給を開始する、現在京城府内で一日に消費する牛は五十一頭だがこの中へその日の牛の出工合をみた上で牛の廿頭分乃至卅頭分の豚を屠殺して行かうといふもので豚肉ばかり喰はされてゐる府民にとつて豚公の登場は大いに歡迎されよう

京城へ新米の走り
來月早々府民の口へ

増産の秋を謳つて京畿道二百五十萬石の先陣早場米が廿五日生產地から京城にドット入つてきた、この新米の走りは各地から集つたものが六百廿三石、仁川へ入荷したもの八百廿五石と廿六日には七百五十石が輸を運ね京城入りをした、十月早々から新米を京城府民の口に上せようといふ當局必死の努力と早場米奬勵補助金の交付に加へて今年は籾の檢査にも若干手心が加へられてゐるため例年に比べて早場米の供出が豫想以上の好成績を示したものでこの分で行けば十日一日から新米の配給は先づ間違ひないと當局では太鼓判を押してゐる

【寫眞＝武官府で山本府尹の】

船員保險事務打合會

遞信局では兼てから海上輸送の任に當る船員の福利厚生施設の一つとして船員保險を實施してゐたが今次大東亞戰爭の勃發に伴ひその内容を再吟味し時局の要請に應へるべく二十九、三十の兩日厚生省台灣、關東州からそれぞれ代表者參集のうへ、遞信事業會館で打合會を開催することになつた、主なる議題は

一、戰時下における船員の保護
二、保健施設の實施
三、給付の擴充
四、内外地事務共助の要件

茶道具

味噌 前田 茶舖

◇……實戰訓練に訓練する第十八回朝鮮神宮奉贊體育大會は、廿六日、第三日を迎へていよいよ最高潮、火花を散らして覇をめざる競技とゝもに公開訓練は必勝不敗の意氣を漲らせて行く

ともに一突必殺の眞劍からうめく雄叫びは秋空に冴する

こんどは遞信局員男女が百名のラジオ體操、職場の老いも若きも起ちあがる銃後鍛錬の敢闘が集團美の極致を描いてくり展げられた

株式 人氣離散 低調

前場 わが無敵海軍は長駆洋に進出し樞軸海軍と手を握つたとはその意義極めて重大で然るに人氣的にみてもひと盛り上つて然るべきところだが、投資筋が新規化から人氣の離散著しく東洋州一円落から卅円トピ押し、新鐘九十九円落から八へと振はず、高周波四十九円

實物＝區々

……に進まれて株算的に新届値の關係からみても警戒するものには整理的な實物が出若干下押し、これと反對に餘裕のある銘柄には新規投ひが行はれて高低區々であつた

地株では朝鮮水力が軟化、漢北電、朝鮮送電、岩村、米市と逆に引締めて來た、主なる値左の如し

朝鮮水力七八、一—七、八▲同新三、〇一二、六▲漢水二一、七北鮮合同六五、〇▲朝鮮送電二、〇一四、〇▲京春二六、〇米市場一一、三一—〇、九▲小五八、五▲義州鑛山六〇、〇▲新三〇、〇▲弘中新二八、五▲鮮理研三一、三—七▲岩村四五▲龍工新三〇、五▲朝鮮セメント九、七五▲東洋電化二、九昭和電工新七〇、〇▲日立新六、七▲自動車部品新三〇、〇二▲川南工業一二九、〇一三興國パルプ四〇、二—四〇、〇

三國志 (916)

吉川英治(作)
矢野橋村(繪)

赤壁の卷

鷄肋 (三)

喰らへども味ひを知らずであらう。彼は鷄の肋をほぐしつゝ口へ入れてゐた。

すると、夏侯惇が、帳を揚つてうしろに立ち、

『こよひの用心符令は、何と布れませうか』

と、たづねた。

これは毎夕定刻に、彼の指令を仰ぐことになつてゐる。つまり夜中の警備方針である。曹操は何の氣なしに、

『鷄肋、鷄肋』

と、つぶやいた。

鷄の骨をしやぶつてゐたので、無意識にいひ迎へたものだらう。だが夏侯惇は、曹操の言なので、何か含蓄のある命令にちがひないと呑みこんでしまひ、

『はツ』

と、そこを退がるや、城中の要所々々を巡り警固の大將たちへ、

『こよひの用心符令は鷄肋との仰せである。鷄肋、鷄肋』

と、布れ廻つた。

諸將は怪しみ合つた。鷄肋とはいつたい何のとか?

誰にも、解けない。諸人は疑義まちまちで當惑するばかりだつた。

ときに行軍主簿の楊修だけは、部下をあつめて、

『都へ歸る用意をせい。荷駄行李をとゝのへてお引揚の命を待て』

と、急にいひつけた。

夏侯惇はおどろいた。自分が布れたことであるが、實は自分にも判つてゐないので、早速、楊修に向つて訊いた。

『どういふわけで、貴公の隊では遽に引揚の用意にかゝられたか』

『されば、鷄肋といふお布令を察じての事でござる。それ鷄の肋はこれを喰はんとするも肉なく、これを捨てんとするも捨て難き味あり、いま直面してゐる戰ひは、あたかも肉なき鷄の肋を口にねぶるに似たりとの思召かと推察いたす。それにお氣づきあるからには、わが魏王も益なき戰は捨てるに如かず——と、はや御決心のついたものと存ずる』

『なるほど』

夏侯惇は感服して、おそらく魏王の肺腑を見ぬいた言であらうと、ひそかにその言をまた諸將へ告げた。

……劉封は面目を失つた。叔父の玄徳にあはせる顔もない氣がした。

しかし孟達に對しては、

『自分の負けが、よけいぶざまに見えたのは、彼が横から出しやばつて、曹彰を追ひ退けたせゐもある』

と、變な妬みを抱いた。

以來、劉封と孟達とは、何となく打解けない仲になつた。劉封は武勇に乏しいのみか素質に於ても玄徳の養子といふには多分に缺けてゐるものがあつた。

しかし曹操の方でも、序戰以後は、日毎に士氣が衰へて行つた。一曹彰が一劉封に勝つたと一時は喜んでみても全面的には、刻々、憂ふべき戰ひにあつたのである。

蜀の張飛、魏延、馬超、黄忠、趙雲などといふ名だたる將は、陣を連ねて斜谷の下まで迫つてゐた。

曹彰も、劉封には勝つたが、それ以後の合戰には、出るたびごとに當の猛將たちから目のかたきに追ひまはされ、手も足も出せなかつた。

こゝは都に遠い斜谷(陝西省漢中と西安との中間)の地。もしこれ以上の大敗を喫して、多くの將士を失ふときは、本國まで歸ることすら覺束ない事にならう。

——曹操も重なる味方の敗色につつまれて、心中悶々たるものがあつた。

『兵を收めて鄴都へ歸らんか、天下のもの笑ひになるであらうし、止まつて、この斜谷を死守せんか、日毎に蜀軍は勢を加へ、つひにわが死地ともならんも測り難い……』

こよひも彼は、關城の一室に籠つて、ひとり頰杖ついて考へこんでゐた。ところへ、膳部の官人が、

『お食事を……』

と、畏る畏る膳を供へて退がつて行つた。

曹操は思案顔のまゝ喰べはじめた。温かい盒の蓋をとると、彼のすきな鷄のやはらか煮が入つてゐた。

彼岸の種蒔き

暑さ寒さも彼岸まで相場も彼岸を中心に勤兆を孕む、彼岸を中心に緊縮一番大成の種を蒔くことこそ賢明ならん白井株式店の投資連絡部に御質問あれ

株式 (廿六日)

銘柄	寄付	高値	安値	大引
東新	一二三・三	一三〇・四	一二九・四	
大新	一二一・一	一二〇・五	一二〇・二	
鐘紡	一三一・八	一三一・〇	一三一・三	

地株利廻表 (秋田證券調)

軟式庭球

神宮奉贊 軟式庭球 第二日

第十八回朝鮮神宮奉贊體育大會第二日(廿五日)の軟式庭球成績左の通り

◇女子各道對抗(準決勝戰)【京畿】3—1【平南】

▲第一回戰
(梁茂)原 四—二 (富新)井
(山仁)本山 四—〇 (金岩)清本
(白大)川原 一—四 (林茂)本

▲第二回戰
(梁茂)原 四—三 (林茂)本

◇女子中等個人競技

▲第三回戰
京畿(陽高)山 四—〇 (德明)梁茂原
平壤(富新)井 四—〇 (信貞)金松川岡
平壤(林金)城 四—二 (邱大)丹市羽田
平壤(高成)宮田 四—〇 (德同)松柳平川
京畿(白安)川田 四—〇 (北慶)高吉山清
德明(梁菊)山 四—〇 (二第)鈴原木
女大(宮林)峰 四—三 (京畿)李李

德同(仁山)山本 四—〇 (信貞)(富江)村

▲第四回戰
京畿(陽高)山 四—一 平壤(菅新)村
平壤(林金)城 四—〇 平壤(高成)宮田
京畿(白安)川田 四—一 明德(梁菊)山
同德(仁山)山本 四—二 女大(宮林)峰

▲準決勝
京畿(陽高)山 四—二 平壤(林金)城
同德(仁山)山本 四—一 京畿(白安)川田

▲決勝
京畿高女(陽高)山 四—二 同德(仁山)山本

◇男子中等道對抗

▲準決勝

▲第一回戰
(京畿)三—一(慶南)
(東本)金城 三—四 (瀬田)
(梅原)深川 四—一 (谷)
(梅原)深川 四—一 (瀬田)

▲第二回戰
(平南)三—二(慶南)
(本戸)高瀬 一—四 (松山)芝
(長谷川)瀧川 四—〇 (岩)神
(江本)林 三—四 (林岩)

▲第三回戰
(長谷川)瀧川 四—二 (松山)芝

◇決勝戰
(京畿)三—二(平南)
(長谷川)瀧川 四—三 (岩城)林
(梅原)深川 四—二 (高瀬)本戸
(東本)金城 〇—四 (長谷川)瀧川

(本田)白 四—一 (林)江本
▲第二回戰
(梅原)深川 五—六 (長谷川)瀧川
▲第三回戰
(本田)白 四—一 (長谷川)瀧川

七段選手權戰
第二回

先 番 七段 橋本宇太郎
(六目半コミ出し)
六段 藤澤庫之助

一分以内切 消費時間(白〇〇、黑〇〇、二分)

……に白は、十とコスミ、十二ンでこの消極戰法を徹底せしめる。白の布石としては近來のさまだ。だがこれは藤澤氏が……をたよりにした……とかく堅實無理に構へ然る後に粉碎の擧に出るの……風でもあるのだ。十三は大場であり、十五は手段である。

朝鮮殖産債券償還公告

本月四日ノ抽籤ニ於テ下記番號債券當籤致候ニ付來ル十月十五日ヨリ債券引換ニ支拂可致候

昭和十七年九月

株式會社 朝鮮殖産銀行

第百三十回 五千圓券
13 18 21 24 41 42 53 54 59 60 73 74 93 96 101 102 135
136 153 154 173 176 215 218 249 250 257 258 277 280 291 292 295 302 307 308 317 318 377 378 381 382 413
620 633 634 637 640 645 740 775 776 781 782 793 872 877 878 889 890 893
1.040 1.049 1.050 1.077 1.078 1.101 1.190 1.197 1.198 1.215 1.216 1.231 1.354 1.373 1.374 1.379 1.380 1.426 1.437 1.438 1.447 1.448
1.551 1.552 1.557 1.558 1.561 1.562 1.731 1.732 1.737 1.738 1.741 1.742 1.897 1.898 1.905 1.906 1.909 1.910 1.995 1.996 2.001 2.006
2.104 2.127 2.128 2.145 2.146 2.275 2.276 2.299 2.300 2.317 2.406 2.417 2.418 2.429 2.498 2.505 2.508 2.603 2.606 2.617 2.618
五百圓券 310 441 450 481 490 531 1.011 1.020 1.081 1.380 1.421 1.440
百圓券 181 240 1.160 1.419 1.420 1.471 1.472 1.557 2.136 2.151 2.152 2.203 2.204 2.381